

あじろぎ

一般社団法人 宇治青年会議所 2019年度スローガン



挑戦！限界のその先へ

物は試しの精神で、不変の想いを抱き己の殻を突き破ろう

JCI  **Junior Chamber International UJI**
一般社団法人 宇治青年会議所

目 次

- ・ 2019年度 理事長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- ・ 2019年度 組織図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- ・ 2019年度出向者リスト・2019年度 対外事業出向先・・・・・・・・・・ 5
- ・ 2019年度 活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- ・ 1年間を振り返って（2019年度委員長）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
- ・ 宇治青年会議所を振り返って（2019年度 卒業生）・・・・・・・・・・ 22
- ・ 新入会員挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
- ・ 2020年度 理事長予定者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
- ・ 新入会員募集要項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29

●青年会議所とは

1949年、明るい豊かな社会の実現を理想とし、責任感と情熱をもった青年有志による東京青年商工会議所（商工会議所法制定にともない青年会議所と改名）設立から、日本の青年会議所（JC）運動は始まりました。

共に向上し合い、社会に貢献しようという理念のもとに各地に次々と青年会議所が誕生。1951年には全国的運営の総合調整機関として日本青年会議所（日本JC）が設けられました。

現在、全国に青年会議所があり、三つの信条のもと、よりよい社会づくりをめざし、ボランティアや行政改革等の社会的課題に積極的に取り組んでいます。

さらには、国際青年会議所（JCI）のメンバーとして各国の青年会議所と連携し、世界を舞台として、さまざまな活動を展開しています。

●青年会議所の特性

青年会議所には、品格ある青年であれば、個人の意志によって入会できますが、20歳から40歳までという年齢制限を設けています。これは青年会議所が、青年の真摯な情熱を結集し社会貢献することを目的に組織された青年のための団体だからです。会員は40歳を超えると現役を退かなくてはなりません。この年齢制限は青年会議所最大の特性であり、常に組織を若々しく保ち、果敢な行動力の源泉となっています。

各青年会議所の理事長をはじめ、すべての任期は1年に限られます。会員は1年ごとにさまざまな役職を経験することで、豊富な実践経験を積むことができ、自己修練の成果を個々の活動にフィードバックさせていけます。

青年会議所におけるさまざまな実践トレーニングを経験した活動分野は幅広く、OBも含め各界で社会に貢献しています。たとえば国会議員をはじめ、知事、市長、地方議員などの人材を輩出、日本のリーダーとして活躍中です。

●JCI（国際青年会議所について）

自由な社会と経済発展を実現し、新しい社会をリードするにふさわしい人材育成を目的として、1915年にアメリカ・ミズーリ州セントルイスに生まれた小さな青年活動グループから始まったJC運動は、その活動が認められ、アメリカの社会的活動を担う主要な青年団体へと発展していきました。

1944年には「積極的な変革を創り出すのに必要な指導者としての力量、社会的責任、友情を培う機会を若い人々に提供することにより、地球社会の進歩発展に資すること」を使命に、アメリカ、コスタリカ、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、メキシコ、ニカラグア、パナマの8カ国によって国際青年会議所（JCI）が発足。その後、年々加盟国は増え、日本も1951年に加盟、JCIの一員として新たな活動の一步を踏み出しました。

会員数17万人以上の世界で最も大きな青年団体です。現役メンバーに加え約250万人以上ものOBがいます。

毎年11月には世界会議が開催され、世界中のメンバーが一堂に会する重要な国際交流の場となっています。

2019年度 理事長挨拶

2019年度 一般社団法人 宇治青年会議所



第50代 理事長 角田 盛樹

まず初めに、本年2019年の一般社団法人宇治青年会議所は創立50周年の節目の年を迎え、記念式典・祝賀会が開催できましたのも、日頃より私たちの運動・活動に対しまして、格別のご理解とご支援を賜りました、私たちの活動エリアであります一市二町の各行政・関係諸団体の皆様並びに地域の皆様、国内外の同志の皆様、そして宇治青年会議所特別会員の先輩諸兄姉に対して心より感謝と御礼を申し上げます。

本年、私たち宇治青年会議所はスローガンに、“ 挑戦！限界のその先へ 物は試しの精神で、不変の想いを抱き己の殻を突き破ろう ” を掲げ、人口減少が進む中、青年会議所の理念でもあります「明るい豊かな社会の実現」にむけて活動エリアを今一度見つめなおし、新たな再発見をすること、そして愛着をもって地域に根差した活動ができる関係諸団体の皆様との繋がりを持ち、ともに活動のできる仲間を集めること、また、地域の発展に向けリーダーとなるべく、自分自身に問いかけ、物は試しに何事にも失敗を恐れず積極的に挑戦し、熱意をもって活動することが成長に繋がると考えて運動を展開してまいりました。

本年、3つの委員会を構成いたしました。まず、総務委員会には、活動の本質を伝え、会員一人ひとりが能動的に、お互いを認めて補完しあうことで強固な組織基盤を構築するために、組織の下支えとしての各種会議や情報発信等の基盤運営と新年の幕開けとなる新春茶会初釜の開催、年間を通しての例会、卒業式例会を担当していただき、会員同士の情報共有のみならず、日本・地区・京都ブロックの情報を共有し青年会議所活動の一助を担っていただきました。

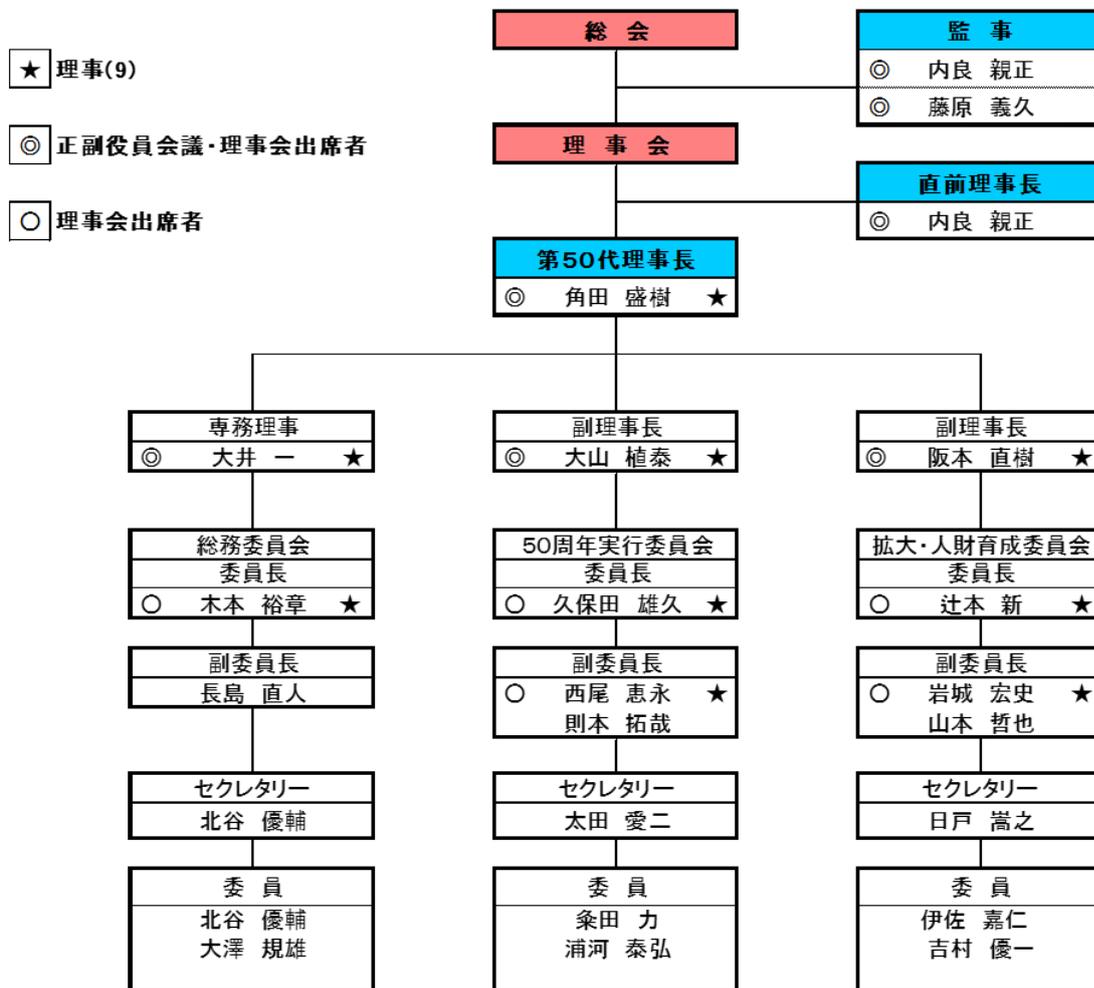
次に拡大・人財育成委員会には、私たちの大きな課題である活動をともしる会員の拡大において、趣向を凝らした拡大活動をしていただきました。ひとつづくり事業においては、リーダーとして他人を思い、失敗を恐れずに挑戦し続けるモチベーションをあげるために、西岡津世志氏を講師に迎え、「挑戦！限界突破」として自らの夢の考え方、挑戦し続ける大切さを学ぶことができました。一人ひとりが思い描く実現したい夢、なりたい自分、目指すビジョンとは何かを今一度自分自身に問いかけるとともに、夢は心から出てくるものであって、頭で考えて出てくるものではないと教えていただきました。普段活動する際に、心から出てくる夢をかなえ続けていくことが自分自身のみならず地域のために波及させることが必要であると再認識いたしました。FTセミナーにおいては対象メンバーに対し議案作成のポイントと考え方を説明いただきました。

そして、50周年特別委員会には委員会の垣根を越えて50周年記念式典・祝賀会と記念事業である「One linkフェスタ2019」そして記念誌あじろぎを作成していただきました。45周年時に策定しましたU2K運動指針の振り返り検証と50周年運動指針の作成をお願いしました。式典・祝賀会においては、地域・行政・関係諸団体の皆様そして、先輩諸兄姉に対しまして、感謝の気持ちをもっておもてなしをするとともに、運

動指針の発表いたしました。One linkフェスタ2019においては、宇治徳洲会病院様、健康友の会様と協調し、また出店いただきました地域に根付いた活動をされているブースの皆様とつながりをもって、関係性を構築することができました。また、吉本興業様に漫オワークショップとステージ演出をいただき、コミュニケーションの大切さを実感いたしました。ひとつの事業を構築し試行錯誤しながら事業当日を迎え会員一人ひとりが困難に挑戦し、乗り越えていく姿が共感を得て宇治青年会議所が大きく成長していくことができると確信いたしました。

最後に、本年宇治青年会議所の理事長の職を遂行するにあたり、数多くの挑戦する機会があり、多くのものを得ることができました。そして多くの出会いの中で自分自身の未熟さや立ち位置を気付かされ、また公私にわたり救いの手を伸ばしていただき、メンバー一人ひとりのご尽力があって本当に充実した一年を過ごすことができました。一年の運動を展開する中で、役職を受けていただき全うしていただきました皆様、また委員メンバーには本当にお世話になりました。心より感謝を申し上げますとともに、残された青年会議所活動を後悔することなく、自分のため、地域のために、全力で挑戦し続けていただきたいと思います。一年間ありがとうございました。

2019年度 一般社団法人 宇治青年会議所 組織図



活動報告

2019年度主要事業一覧

●宇治青年会議所 主要事業

1月 7日	新春茶会（第44回初釜）・1月例会（新春交流会）
2月13日	2月例会
2月19日	通常総会
3月14日	3月例会
4月10日	4月例会
5月15日	5月例会
6月12日	6月例会
6月27日	ひとづくりセミナー
7月10日	7月例会
7月13日	50周年記念式典・祝賀会
8月10日	8月例会
9月11日	9月例会
9月16日	50周年記念事業 One Linkフェスタ2019
10月 9日	10月例会
11月13日	11月例会
11月15日	FTセミナー
12月 7日	12月例会（卒業式例会）
12月16日	臨時総会

●公益社団法人 日本青年会議所 主催事業への参加

1月17日～20日	京都会議
7月20日～21日	サマーコンファレンス2019（横浜）
10月10日～13日	全国大会 富山大会

●公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区協議会 主催事業への参加

7月6日～7日	近畿地区大会 亀岡大会
---------	-------------

●公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区 京都ブロック協議会 主催事業への参加

1月19日	京都ブロックナイト
2月26日	京都ブロック 会長訪問
5月 6日	京都ブロック アカデミー事業 【ソーシャルデザイナー育成】
5月19日	京都ブロック大会 福知山大会
6月 9日	京都ブロック JCカップ（舞鶴）
6月19日～21日	京都ブロック 国際交流推進事業【韓国 済州島】
7月2日	京都ブロック 参議院議員通常選挙（京都選挙区）公開討論会
9月28日	京都ブロック ソーシャルデザイナー育成事業審査会
10月25日	京都ブロック 本今年度合同会議 大生会

●その他、青年会議所活動への参加

3月 3日	第一回 クリーン宇治
6月 2日	第二回 クリーン宇治
11月10日	第三回 クリーン宇治

2019年度主要事業概要

★新春茶会（第44回初釜）

<日時>1月7日（月）

<場所>宇治市観光センター（受付）・宇治市営茶室 対鳳庵（茶席）・辰巳屋（七草粥）



2019年度も新春茶会から新年開始。本年度も昨年に引き続き対鳳庵において茶道を通じて招待した方々にご挨拶を申し上げ、辰巳屋さんで七草粥の提供を行い、ご好評いただきました。

★1月例会（新春例会）

<日時>2019年1月7日（月）

<場所>花やしき 浮舟園



2019年度角田理事長の元「挑戦！限界のその先へ」をスローガンに、新たに出発する宇治青年会議所の基本方針を発信し、府内各地青年会議所のメンバーに意気込みを感じてもらいました。また、浦河君、伊佐君が新たに宇治青年会議所へ入会されました。

★2月～11月例会



2月13日(水)	産業会館	7月10日(水)	産業会館
3月13日(水)	産業会館	8月10日(土)	天理教中背大教会
4月10日(水)	産業会館	9月11日(水)	産業会館
5月15日(水)	産業会館	10月9日(水)	産業会館
6月12日(水)	産業会館	11月13日(水)	産業会館



★ブロック会長訪問

<日時> 2月26日 (火)

<場所> 京都八百忠 別館



京都ブロック協議会会長公式訪問が城陽の地で開催されました。

今回は、演台で話される形式とは違い、座談会形式で行われ、メンバーからの直接の声をより近くで聞いて頂き、会長、ブロック役員の方たちの想いを、より近くで伝えて頂きました。

★ひとづくり事業

<日時> 6月27日 (木)

<場所> 宇治市産業会館



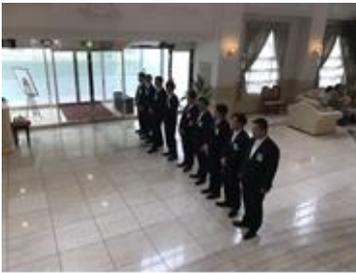
拡大・人財育成委員会による「挑戦！限界のその先へ」をテーマに、人財育成セミナーを開催しました。講師として、京都の有名ラーメン店「夢を語れ」創業者 西岡 津世志氏をお招きし、ご講演頂きました。西岡氏の、「皆さんの知りたいことを、お話ししますので教えてください。」のメンバーに対する質問から始まり、しっかり自分のしたいことを分析し行動していく心構えを学びました。この日の学びを今後のJC活動、仕事活かし挑戦を続けて参ります。

★創立50周年記念式典・祝賀会

<日時>7月13日(土)

<場所>パルティール京都





「One Link One Heart～半世紀の想いを胸に、未来へ繋ぐ～」をテーマに、50年間活動を繋いでこられた先輩諸兄姉をはじめ、行政・議会や各種団体の方々、姉妹JCである香港ブヒニア青年商会の皆様、府内各地の青年会議所の皆様など、大変多くの方にご臨席いただく中で宇治青年会議所50周年記念式典・祝賀会を開催いたしました。

★まちづくり事業

<日時> 9月16日（月・祝）

<場所> 宇治徳洲会病院 第二駐車場



昨年に続きまちづくり事業として、One Linkフェスタ2019を開催いたしました。本年度は、地域との繋がりを強化すべく、宇治徳洲会様・健康友の会様と三者主催で事業を構築し、吉本芸人によるワークショップ、ダンス、カンフー、漫才のステージアトラクション、飲食ブース、フリーマーケット、飲食ブースの出展をはじめ、宇治徳洲会様による医療講演、救急車展示等や、健康友の会様による縁日ブース、京都文教大学様によるお茶淹れ体験ブースも大変好評で、本年度も多くの地域の方々に交流する機会を創出することができました。

★VMVセミナー (Vision , Mission and Value)

<日時> 10月9日（水）

<場所> 宇治市産業会館 第一会議室



10月例会の第二部として講師として河原様を迎え、VMVセミナーを開催しました。

VMV セミナーを通じて、宇治青年会議所のメンバー一同で、「JCとは何か」改めて考える機会となりました。2つのワークとわかりやすいレクチャーにより、JCの歴史や「4つの機会」、また宣言と綱領の違いなど細部にわたって学ばせていただき、JC活動がやりやすくなるきっかけをいただきました。

★FTセミナー

<日時>11月15日(金)

<場所>槇島コミュニティセンター



入会3年未満のメンバーを対象にFT（フレッシューズトレーニング）セミナーを開催いたしました。宇治青年会議所の歴史や基本理念のほか、理事メンバーが行っている議案作成～上程までを体験できる実践的なプログラムを実施いたしました。

★12月例会（卒業式例会）

<日時>12月7日(土)

<場所>リーガロイヤルホテル京都 ルポア2F





本年度は4名のメンバーが卒業しました。
懇親会では卒業生一人一人が自らの活動を振り返り、現役メンバーに熱い想いを語って頂きました。
また、特別会員の皆様にも多数ご出席いただき、盛大な卒業式が執り行われました。

★クリーン宇治事業

<日時> 3月3日(日)・6月2日(日)・11月10日(日)

<京滋バイパス側道>



年間に3度行われるクリーン宇治事業。この清掃活動は、市内各地で実施され、地域のための清掃活動であると共に、宇治青年会議所の重要な広報活動の一環になります。

★宇治田楽まつり

<日時> 2019年10月19日(土)

<場所> 宇治市文化センター



多くの歴史に彩られた宇治、まちづくり事業の一環として宇治青年会議所が立ち上げのきっかけとなった。宇治田楽まつりは本年で22年目を迎え、益々市民のまつりとして定着しています。

地域づくりの一助となれるよう、またこれからもさらに大きなまつりとなるようにサポートしていきます。

【出演者】

角田 盛樹 大山植泰 木本裕章 辻本 新

近畿地区協議会 事業

★近畿地区大会 亀岡大会

<日時> 7月6日 (土)

<場所> ガレリア亀岡



2019年度近畿地区大会亀岡大会が亀岡市ガレリア亀岡において開催されました。合わせて「JOY to KINKI」が亀岡駅北広場にて開催され、宇治青年会議所として「ひやし茶そば」のブースを出させていただきました

京都ブロック協議会 事業

★京都ブロックナイト

<日時> 1月19日 (土)

<場所> 西陣織会館



今年初の試みである京都ブロックナイト。

府内各地の青年会議所メンバーが一堂に会し、互いに各LOMのPRや京都ブロックの委員会紹介等を行った。

★京都ブロック アカデミー事業 【ソーシャルデザイナー育成】

<日時> 5月6日 (月)

<場所> 京都経済センター



近畿経済産業局地域経済部地域開発室の江龍氏より、RESAS（地域経済分析システム）の使い方をご講演頂き、グループに分かれて地域の課題抽出を、RESASを使って行いました。又、(株)クリップの島田氏からは、時代が大きく変わる中、「きょうとはちがう未来を」デザインできるプロデューサーを育成するセミナーとして、地域活性の成功事例についてご講演頂きました。

★第47回京都ブロック大会 福知山大会

<日時> 5月19日 (日)

<場所> 福知山市



本年度、京都ブロック大会は福知山市にて開催されました。ブロック大会フェスタ「つながる。フェスタ」は福知山城で行われ多くの来場者の方で賑わいました。また褒章授与式においては昨年の宇治青年会議所の「One Link フェスタ 2018」が準グランプリに選ばれました。

★JCカップ

<日時> 6月9日 (日)

<場所> 伊佐津川運動公園





6月9日(日)に開催された第5回J CカップU-11少年少女サッカー大会 京都予選大会。合計11チームが頂点を目指し熱い戦いを繰り広げました。宇治J Cの活動エリアからは、菟道S S Sが出場し、見事決勝まで勝ち進みました。決勝では長岡京S Sに惜しくも敗れましたが、最後まで必死にボールを追いかけた子どもたちの姿に感動しました。

★国際ミッション

<日時> 6月19日(水)～21日(金)

<場所> 韓国 済州島



6月19日から21日まで、国際ミッション in 香港に参加しました。

(一社)自治体国際化協会 松本 義弘氏の基調講演や、友情構築プログラムとして、一日アジアメンバーと班行動でコミュニケーションをとりながらゴールを目指し、交流を深めました。最終日にはミッション参加者全員でギネスにも挑戦し一体感のある三日間でした。

★参議院議員通常選挙（京都選挙区）公開討論会

<日時> 7月2日（火）

<場所> 京都経済センター



京都府民の皆様に、親しみやすくわかりやすい公開討論会を目指して、日本女子プロ野球機構 京都フローラ所属の小西美加選手、植村美奈子選手をお招きして開催し、WEB限定で配信されました。

★ソーシャルデザイナー育成事業審査会

<日時> 9月28日（土）

<場所> 舞鶴市商工観光センター



5月のソーシャルデザイナー育成事業の後、京都府内各青年会議所でプロジェクトチームが結成され、約半年の期間それぞれがRESASを駆使して地域課題の解決策を立案し、プレゼンテーションを発表する審査会が開催されました。宇治青年会議所からは、木本君に、熱のこもったプレゼンテーションを発表して頂きました。

★本今年度合同会議 大生会～ブロック報告会並びに伝達式

<日時> 10月25日（金）

<場所> ANAクラウンプラザホテル



今年度の京都ブロック協議会の計画する全ての運動が10月25日をもって終了し、その成果を発表し、2020年度に継承するため開催され、笑いあり、涙ありの一年間を京都府内の多くのメンバーと振り返りました。

2019年度 委員長 1年間を振り返って



【総務委員会 委員長 木本 裕章】

今年、2回目の委員長をさせていただきましたが、いろんな課題を感じた1年でありました。本来であれば青年会議所の委員長として、新たなことへの挑戦もしていかなければならないわけですが、どちらかと言えば過去の経過を確認しながら、また1回目の委員長の経験を踏襲した形での委員会運営が中心であったように感じております。

会員数がきわめて少なくなっている中における会議運営を模索してまいりました。ただメンバーが楽をすることと、青年会議所としての奉仕・友情・修練の3信条の本質を両立することが難しいとともに、他方でこれまで継続してきた事業や交流は維持しなければならず、委員会メンバーを上手く巻き込めたかどうかは、私自身が省みなければならない部分が多いように思っております。ただ同時に、そうした経験が出来るからこそ、青年会議所で活動している意義があるとも思います。

年度の後半には、日本青年会議所のセミナーを開催させていただきましたが、私自身が改めて青年会議所の本質について学びと気づきを得させていただきました。今後も日本や近畿地区や京都ブロックを活用しながら、青年会議所の魅力をさらに発信していければと思います。

宇治青年会議所発足50周年の2019年度を終えます。社会が変化する中で、青年会議所がどのような運営が必要なのか。次年度以降の青年会議所運動の一助となるように、今年の経験を活かしてまいります。



【拡大・人財委員会 委員長 辻本 新】

当委員会では委員会名の通り、会員拡大と人財育成を担当しました。

今年度の会員拡大に関しては異業種交流会の開催や各事業へのオブザーブ動員、地域のイベントへの参加による広報などを行って参りました。

なぜ拡大が必要なのか、なぜ青年会議所活動をおすすめするのか、これが明確でないと入会候補者に何も伝えられません。委員会メンバーは私も含めて青年会議所の活動歴が浅い者がほとんど。当初は、先輩方からの紹介に頼っておりましたが、事業を重ね経験を積む中でメンバー自身が青年会議所活動の魅力に気づき、自ら動き自分の言葉でその魅力を伝えられるようになりました。これにより拡大の活動は後半により活発化し、来年度頭にはその成果が表れることと思います。

人財育成に関しては外部講師を招いての人財育成セミナーを開催しました。お招きした講師は夢を語るラーメン店「夢を語れ」の創業者、西岡津世志氏。「挑戦！限界のその先へ」というテーマでお話いただきました。「現状に満足せず、考え方や行動を変え挑戦していく。」「夢を実現させるためにどうモチベーションを保って挑戦し続けるのか。」をメインテーマとしてお話しいただき、メンバーが今の自分に満足することなく、挑戦し続けられる考え方を持つきっかけをつかんでほしいと考えておりました。

印象深かったのは、「夢やビジョンは心で見つけるものである。」という事です。心からやりたい事、心から

なりたいものに向かって挑戦しているときは楽しい。だから自然とモチベーションが上がり、挑戦し続けられるのです。夢は心で見つけるものであり、頭で考えて見つけるものではないのです。

このような素晴らしい気づきを与えていただきました。メンバーもそれぞれ新たな気づきを得られました。運営上、様々な改善点はありましたが、よい事業が行えたと感じております。

今年度委員長を務めさせていただき、自分自身、力不足を感じる部分もありましたが、委員会メンバーをはじめ、周りのサポートのおかげで最後まで務めることができました。また、このような役をお任せいただいた理事長はじめすべての会員の皆さまに御礼申し上げます。



【50周年特別委員会 委員長 久保田 雄久】

本年度、当委員会は、主な事業として、50周年記念式典・祝賀会・OneLink フェスタを担わせて頂きました。先輩諸兄姉が創り上げて来られた偉大な歴史のプレッシャーに押し潰されないか不安で一杯の中で、本年度がスタートしました。不安は的中し、本当に大変でした。(笑)本番当日までの数か月間沢山の壁にぶち当たり、何回も心が折れそうになりましたが、とにかく必死に委員会メンバーを中心に、ロムメンバーみんなで、乗り越え本番に挑み、無事に終えることが出来ました。反省はありますが後悔は全く無いです。私の至らない部分をメンバーが補ってくれるどころか、更にパワーを与えてくれた皆様には、感謝しかありません。本当に有難うございました。

その後、休む間もなく、OneLink フェスタの事業準備に入りました。動きが遅れ、かなり作業に追われ、メンバーに大きな負担をかけてしまいました。自分の不甲斐無さに後悔が残っていますが、メンバーに助けられ、当日は何とか大きなトラブルは防ぐことができ、次年度へ継続可能な事業として終えることが出来ました。今年一年あつという間でしたが、心の強さ・仲間の大切さ・先輩諸兄姉が繋いできたことを、私たちが未来へ繋いで行く責任等、多くの学びがありました。

メンバーの皆様へ、50周年特別委員会委員長として、活動・運動をさせて頂き、本当に有難うございました。皆様と一緒に必死で取り組めた経験は、私にとって一生の宝です。



【角田 盛樹】

私は、2014年2月に入会させていただきました。その前よりお誘いがありましたが、その当時は内容を聞いても自分自身でピンとこず、一度はお断りをしました。その後幾度か声をかけてもらったのもあり、面白くなければ辞めようと楽観的な気持ちで入会したのを覚えております。とりあえず、例会は参加しつつ、何もわからないままその年に45周年の式典・懇親会が開催されるにあたってメンバーが一つになり活動し、私自身も役割を与えられるなか、熱苦しい集団だなと思う反面、やればやるほどカッコいいな！と感じておりました。

私自身の中での転換点はいくつかあるのですが、一つは2年目に出向した、京都ブロック出向先での出会いが挙げられます。当時の委員長は私と同じ年齢で歴も長かったのですが、歴や役職関係なく接していただき、とりあえず何事にも挑戦して一生懸命取り組んでぶつかっていけば、何倍もの物が自分に返ってくるということを実感できる一年となりました。

3回にわたる出向において、事業構築から開催に向けて活動する姿にいつしかのめりこみ、何とか貢献できるようにと考えておりました。出向先で出会える仲間は一生の宝物です。

2018年には専務理事として、多くの事業に参加するとともにさらに多くの出会いがあり、本年2019年は、第50代理事長を拝命いたしました。にわかにもその話が出る度に、その責任や重圧に逃げ出したい気持ちはなかったわけではないですが、声をかけてくれる、応援してくれる多くの国内外のJCメンバー、そして背中を押してもらった先輩諸兄姉の存在、何より懸命に活動していただいたロムメンバーがいてくれたおかげで、理事長職を全うすることができたと心から感謝しております。

最後になりますが、私自身の活動を振り返るなかで思うことは、多くの機会がありそれをいかに多く掴み取るかであり、それに気付いたときには残った時間が少ないということです。残るメンバーには、自分自身のために物は試して挑戦して多くの機会を掴み取っていただきたいと思います。

また、青年会議所活動を通じてお出会いした多くの皆様との繋がりに厚く御礼申し上げますとともに、宇治青年会議所の先輩諸兄姉並びにメンバーに対して感謝申し上げます。

本当に、ありがとうございました。



【岩城 宏史】

2014年5月に宇治青年会議所に入会をしました。

入会のきっかけは、兄が宇治青年会議所を卒業するという事で兄の勧めから入会する事になりました。「とりあえず月一回の例会と、懇親会行ったらええよ」と、聞いていたので軽い気持ちで入会を決意しました。

入会約2ヵ月後の7月、初めて参加させて頂いた事業が近畿地区大会の和歌山大会で、宇治青年会議所の食のブースにて同じ年度入会の角田君、久保田君らと一緒にU2K焼き（ネギ焼き）を手伝いました。ひっきりなしに焼いては準備をして、また焼いてととても忙しくて、でも先輩の方々が気に掛けてくださったり、差し入れを

してくださったりと仕事では得られない楽しさや充実感を得る事ができました。この大会で初めて宇治のみなさんの仲間になれたと感じられ本当に楽しかったです。

まだ何をやる団体か、何を目的に活動を展開しているかも十分に理解しないまま、7月に開催されました45周年事業の準備段階の途中からの参加にはなりましたが、一つの事業が無事成功に至るまでにどれだけの人が時間や情熱を費やすのかを間近で見させていただきそのパワーに圧倒された事が思い出されます。

入会翌年には初の京都ブロックへの出向もさせていただきました。そこで感じられたのは青年会議所の規模の大きさ。宇治だけではなく京都全域のメンバーと府内各地で委員会をし、色々な方と話し合いたくさんの出会いもさせていただきました。

あれからもう5年が経ち、今まさにこの文章を書きながらもうすぐ卒業なんだと実感しています。入会の年に45周年記念事業。そして卒業年度には50周年記念事業。周年事業というのは5年周期なので在籍年数によっては参加できない方もおられると思います。たった5年の在籍で2回も周年事業に参加できた事が嬉しく思います。

微力ではありましたが、5年間も活動をさせていただけた事を先輩諸兄姉・現役のメンバーの皆様・出岡様に深謝し、宇治青年会議所のこれからの益々のご発展をご祈念いたしまして、ここに宇治青年会議所を卒業いたします。本当にありがとうございました。



【辻本 新】

私が入会したのは2018年1月でした。その前の2017年9月ごろからメンバーの方にお誘いいただきオブザーブで参加したのが始まりでした。

当時、転職したてで地元の人脈がほしいと考えていました。どうせなら、地域を盛り上げる活動をしている団体に所属したいと思っていましたので、結果的に宇治青年会議所はぴったりでした。

オブザーブで参加する前は青年会議所というと、若い実業家が主に飲み会などの遊びの活動をしている、という認識でした。しかし入会してみると全く違っており、「こんなにまじめに活動しているのか!」と驚きました。

初年度に所属したのは街づくりを担当する委員会でした。委員会としてメインの事業となった「ワンリンクフェスタ2018」は思い出深い事業でした。久保田委員長のリーダーシップの元、委員会がまとまり一つの目標に向かって大きな力となって動きました。結果、事業は大成功となり、打ち上げでは当時の久保田委員長、所副委員長、石山直前理事長の涙に私自身ももらい泣きました。大人になってこんなに真剣に取り組める事業や真剣に関わりあえる仲間に出会えてうれしく思います。

また、初年度には京都ブロックへの出向も経験させていただきました。京都府内のたくさんのメンバーと関わり、ブロック大会運営のお手伝いをさせていただくという、貴重な経験をさせていただきました。出向を勧めていただき感謝しております。

そして最終年度、拡大・人財育成委員長を拝命しました。務められるか不安でいっぱいでしたが、皆さまの支えのおかげでなんとか最後までやってこれました。委員長として活動する中で、自分に足りないことに気付かされました。これが一番の成長ではないかと感じます。卒業しても人生は続きます。青年会議所活動で得たものを生かし、今後も挑戦し続けて参ります。

お世話になった皆様に改めて感謝申し上げます



【山本 哲也】

2018年3月という39歳の春に入会させていただき、宇治青年会議所に1年9か月という短い時間ではありましたが、お世話になる事が出来ました。

入会に当たっては、たまたま取引先に大阪茨木JC方がおられ、更に歴代理事長の江口先輩が同じ農家を営まれていたご縁を頂いた事が始まりでした。入会前に、当時の石山直前理事長から、青年会議所は、地元地域への貢献を目指す活動の中で個人のスキルアップをし、最終的には世界平和へ繋がる事を目標にしている、という壮大な話を聞き、大きな驚きと、更に大きな興味を持ちました。また、南部3LOMブロック会長訪問へオブザーブさせて頂いた時に、青年会議所内でしか通じないLOMやノミニーという単語、また会長、理事長、監査に委員長といった役職がある事に、青年会議所とは不思議な団体だなあと、そして、当時の京都ブロック両国会長の熱い話を聞き、一方でドン引きし、一方でそこまでのめり込めるJCとは何なんだろうと、これは自分で体験すれば必ず何かが身につくとも感じました。

入会した当初から卒業までの時間が短い事が分かっていたものの、当初は周りの皆に自分は何が出来るのか伝えることが出来ず、あっという間に1年目が過ぎてしまいました。2年目に京都ブロックの事務局に出向させて頂く事になり、ブロックの活動の根幹に関わる事ができ、活動をしていく中で、南部3LOM交流事業を自分を中心に担当させて頂いたり、10月の大成会・ブロック報告会並びに伝達式では映像と音楽を任せられ、大成会終了後に仲間から感動的やった、今までの事業で一番凄いと聞いた、という話を聞き、自分でもとても大きな学びになったと感じています。

LOMでは、拡大・人材育成委員会の副委員長をおおせつかりましたが、セミナーでも拡大活動も不甲斐ない活動しか出来ず、辻本委員長にご迷惑をかけっぱなしであったと申し訳ない気持ちがあります。

そして、宇治青年会議所の50周年に立ち会う事ができた事は本当に幸運な事だと思います。周年式典、事業に参加し、宇治青年会議所の活動を支えられてきた先輩諸氏の歴史を強く感じました。1年9か月という短い時間。あともう1年あればという不完全燃焼を感じますが、その反省も今後への大きな指針として、青年という時期から壮年へ向けて進んで行きたいと思えます。

そして、多くの学びをくれた仲間と関わって頂いたすべての皆様に感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

2019年度 新入会員 挨拶



【伊佐 嘉仁】

2019年1月に入会しました伊佐嘉仁と申します。私は宇治で経営コンサルティング業および保険代理業を営んでおります。ご縁があって宇治青年会議所を紹介いただき、入会致しました。

同世代の仲間と一緒に活動することを通じて、地域の良さを学んでいきたいと考えております。

皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。



【吉村 優一】

2019年5月に入会いたしました、吉村優一と申します。伏見区で中古車買い取り・販売業を営んでおります。私は20代の頃、宇治市で仕事をさせて頂いておりました。当時から今もこの宇治市の街や人柄が大好きです。宇治青年会議所への入会も、その頃からお世話に先輩に勧められて、地域のために何かできるのであれば、この宇治の為に力になりたいと思い入会しました。先輩方が築いてこられた活動の歴史に少しでも貢献出来れば自分自身の成長にもつながると考えております。どうぞ、よろしくお願いいたします。



【大澤 規雄】

2019年7月に入会いたしました、大澤規雄と申します。

私は宇治の金融機関に勤めております。JC活動を通じて、宇治の知識を深めつつ、宇治の発展に貢献出来るよう活動していきたいと思っております。また、異なる業種のメンバーの皆さまと交流させて頂くことで、私自身も成長していければと思っております。

慣れないことが多く、至らない点もございますが、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



【竹内 理】

2019年7月に入会いたしました竹内と申します。

宇治で生まれ育ち、一度は離れましたが、家族ができたタイミングで宇治市に戻ってきました。自分が生まれ育った街と関わることをしたいという思いを持ち続け、ようやく青年会議所に入会することによって一歩を踏み出せたと思っています。地域の発展や未来について考える仲間とともに、宇治を盛り上げていけたらと切に願っております。よろしくお願いいたします。

2020年度 理事長所信

一般社団法人 宇治青年会議所



第51代 理事長 大山 植泰

未来を切り拓く

やさしく つよく おもしろく

はじめに

宇治青年会議所は、1969年に全国で431番目の青年会議所として、本日まで日々刻々と変化する時代の流れの中で、地域の魅力の発信や、その時代における課題に向き合い、先輩諸兄姉が地域の方々と共に青年会議所活動を展開してこられ、昨年は創立50周年という大きな節目を迎えました。

次の半世紀の初年度となる51年目を私たちは、先輩諸兄姉が地域の発展に寄与すべく、この地域に想いを馳せ、よりよい社会を築くために時代に求められることを真剣に考え、熱い情熱で今日まで紡がれてきた歴史と地域の方々のご理解、ご支援に感謝と敬意の念を抱き、「明るい豊かな社会の実現」に向け、青年会議所の魅力を発信するとともに他者を思いやり、強い意志を持って行動し、地域の方々に影響を与えられる事業を追求し、未来を見据え活動しなければなりません。

会員拡大

宇治青年会議所は、1969年の創立以来、明るい豊かな社会の実現のために活動を展開し、その志と情熱は今日まで受け継がれてきました。しかし、私たちの活動エリアには20歳から40歳までの人たちが43,580名（宇治市36,476名、宇治田原町2,152名、久御山町4,952名）いるなかで、新たな入会候補者を探しだせておらず近年は、微増、微減を繰り返しているのが実情です。また、近年の会員の減少に伴う組織力の低下は宇治青年会議所の大きな問題となっており、組織の存続さえ危ぶまれる状況と言っても過言ではありません。

ません。連綿と受け継がれてきた志を共有し、さらに志高い地域のリーダーたるべき組織となるためには、これまで以上の会員拡大の強化が必要です。

そのためには、全メンバーが会員拡大の重要性、必要性を自覚するとともにメンバー一人ひとりの会員拡大に対する意識を向上させ、一致団結して取り組む気風を生み出すと共に、それぞれのメンバーが青年会議所の運動の意義と組織の魅力を伝えられる青年会議所を目指し、未来の仲間が我々とつながりを持つ機会を創造してまいります。

また、会員数の増加を組織の維持するためだけでなく、まちの未来を考え行動する人財を増やす運動として、爆発的な会員拡大を目標に全メンバーで挑戦してまいります。

組織力向上

青年会議所は、修練・奉仕・友情の3信条の基、メンバーの存在で成り立っています。誰かが困っていれば手を差し伸べられ、人のことを考えた行動ができ、組織に責任と誇りを持つことが組織力の高い組織であると考えます。私たちは、本当に自分たちの組織に責任と誇りを持って行動しているのでしょうか。誰かがやってくれると思い、人任せにして、その場にいるだけになってはいないでしょうか。主体的に活動できているメンバーとそうでないメンバーとの意識の差が生じ、組織としての一体感が薄れ、運動の基盤となる組織力を弱める一因となっていると感じます。

私たちの組織にとって必要なのは、物事を俯瞰的に捉える視点と当事者意識を持った行動ができることです。誰かがやる組織ではなく、メンバーが組織の一員として自らを律し自らを磨き、揺るぎない信念を携えて行動し、同じ志を持った仲間と切磋琢磨し個人の成長とともに、つよい絆をつなげ合い行動してまいります。

また、メンバー同士のコミュニケーションが必要です。メンバー同士の情報交換が日常化されれば、組織として常に同じ方向を見ることができるようでしょう。

自分たちが担当する事業のみを企画・運営するだけでなく、委員会の垣根を越え、当事者意識をもって、他の事業においても主旨を理解し、メンバーが一丸となって行動することで、つよい組織を構築してまいります。

人財育成

宇治青年会議所は入会歴の浅いメンバーが大半を占めています。しかし、入会歴を問わず、私たちメンバーは地域社会や企業において、リーダーとして多様化した価値観の中で、組織の方向性を示していかなければなりません。

私が考えるリーダーとは、組織に関わる一人ひとりの目指す目的へ牽引する役割があり、少子高齢化やインターネットの進歩やSNS等のコミュニケーションツールの普及などによる大きな変化や、様々な環境下においても、批判・失敗をおそれずに判断を下し対応できる人財であると考えます。

そういったリーダーになるために、「ひとつづくり」を通じて絶対に折れることのない強い精神力と高い意識を持ち自ら率先して行動し、時々的情勢に応じて柔軟に決断ができる資質を兼ね備えた地域を牽引できる強い人財へと成長してまいりましょう。

地域力向上

自分たちの住む地域を住み良いまちにしたいという想いは、その地に住まう人びと、そして我々メンバーにとって共通の想いであります。しかしながら、近年のインターネットの進歩やSNS等のコミュニケーションツールの普及などにより、溢れんばかりの情報を手に入れることがいとも簡単にでき、地域を支えていく力が低下してきていると考えます。

地域に住まう人たちが安心して住み続けられるまちづくりには、多くの人たちの助け合いが必要となると考えます。地域に住まう人たちに対する愛着や誇りを持ち、地域に対して関心や問題意識など当事者意識を持って、地域のために何ができるか考え、人びとが支えあい助け合いながら、地域を築きあげなければなりません。

我々には伝統ある事業や京都ブロック協議会に評価を得た事業があります。これらの事業を、地域の人びとや諸団体との連携を図りながら現代のニーズに合わせた形へと進化させる事業を展開し、まちの明るい未来を見据えた運動を推進して参ります。

私たちは事業を通じて、地域社会の一員として地域の素晴らしい魅力をしっかりと見つめ、地域に住まう人たち、行政、他団体と協力し、人と人との関わりの中から生まれるつながりを感じながら笑顔溢れる明るい豊かなまちづくりに向かって行動してまいります。

最後に

青年会議所が掲げる使命に対する答えには、無限の正解があります。ある法則によって導き出された決まった正解ではなく、自らが出した答えを自ら正解へと導いていかなければなりません。それ故に事業構築にあたっては自らの情熱と勇気が必要になり、それを推し進めるにあたってはメンバーの協力が励みになり、行動の加速度を増していく力となります。その過程において相手をおもいやる心の重要性に気づきがあると考えます。相手を想い、理解し、感謝し、時には許し、諭すなど、おもいやりを様々なかたちで表現することで、仲間との信頼が深まり、組織の結束も強くなっていくと考えます。

そこで生まれる大きな力をもって社会貢献へと繋げ、多くの人を巻き込む行動を起こしていきましょう。青年会議所が掲げる明るい豊かな社会を創造していくには決して一人の力では成しえませんが、全てを成し遂げ、やり遂げたときに青年会議所の活動はおもしろいと感じます。40歳までの限られた時間の中でメンバー一人ひとりが組織、地域の未来を切り拓く覚悟をもって共に行動していきましょう。

新入会員募集！！

<宇治青年会議所へようこそ>

宇治青年会議所は設立当時から、“明るい豊かな社会”の実現を目指して、様々な活動をしてきました。この価値ある活動を推進する会員は、自分自身が明るい豊かな社会を築く原動力であるという、高い意識を持ち、常に未来を見据えた行動を起こさなければならないと考えます。

宇治青年会議所では、会員全員がその共通認識のもと様々な活動に取り組んでいます。また、自らの修練と共に多くのメンバーとの「友情」をも育む事が出来る場でもあります。是非、私たちと共に活動しましょう！

- J Cの活動を通して地域に貢献出来た気がします。
- たくさんの人たちと出会い、信頼できるたくさんの仲間が出来ました。
- 色々な職業の人たちと知り合い、自分の仕事への良い刺激になりました。
- 事業を達成する事で、大きな充実感が得られました。

<仕事が多忙なあなたこそ>

忙しく、J Cに参加する時間が無いとお考えのあなたこそ、あえて入会をおすすめいたします。

多くの会員がハードスケジュールに追われている青年経済人である青年会議所では、より効率的な時間の管理方法を身につけ、実り多い時間を生み出す事を目指します。

<揺るぎない信頼関係>

様々な職種の20才から40才までの青年経済人で構成されている青年会議所では、共通の認識のもと、ひとつの目的に向かって団結して頑張ります。そのなかで育まれた友情、信頼は何年経っても変わらない絆になります。



Junior Chamber International Uji

一般社団法人 宇治青年会議所

事務局 〒611-0021 宇治市宇治琵琶45-13 宇治商工会議所内
TEL.0774-23-3172 FAX.0774-23-7025
URL <http://www.ujijc.jp> E-mail info@ujijc.jp